



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

解答例



2022年 7月21日朝刊中部版

記事を読んで、問いに答えましょう。



地域の水産業について児童が理解を深めた体験教室
静岡市清水区島崎町の清水魚市場

魚市場で競り 児童体験

清水浜田小 地域の水産業学ぶ

(浦原支局・マコーリー碧水)

児童22人が集まり、実際の競りの様子を動画で見てルールやかけ声の意味を学んだ後、同市場を運営する「清水魚」の社員らによる競りの実演を間近で見学した。子どもらで模擬競りにも挑戦し、活気ある競りの雰囲気を体験した。

静岡市清水区浜田町の清水浜田小5年生がこのほど、地域の水産業について理解を深めようと同区島崎町の清水魚市場で競りの体験教室に参加した。

年 組 名前

①見出しの「競り」は何と読みますか。ひらがなで書きましょう。

(せり)

②記事の体験教室の目的は何ですか。

地域の水産業について理解を深めるため。
清水の街を代表するマグロ漁の未来について学習するため。
など

③この学習のまとめとして制作するものは何ですか。

(「清水の冷凍マグロPRパンフレット」)

④「魚市場に活気がある」のは、どんなことに関係すると思いますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

競りで大きなかけ声が響いているために活気がある。(25字)

魚を運んだり、解体したりする人たちが忙しく働いているから。(29字)
など

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、総合)